

第 2 回 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会 議 事 録

事項	第 1 回 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会	出席者	19名 (事務局除く)
日時	平成 25 年 12 月 20 日 13:00~14:30	場所	兵庫県姫路総合庁舎 福利センター3 階会議室 A, B
内容	1. 開会 2. 議事 (1) 第 1 回推進協議会及び第 2 回ワーキングでの主な意見について (2) 推進計画(原案)について (3) その他 3. 今後の予定等(連絡事項) 4. 閉会		
資料	資料 1-1 第 1 回中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会 議事要旨 資料 1-2 第 2 回中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会 上流域ワーキング 議事要旨 資料 1-3 第 2 回中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会 下流域ワーキング 議事要旨 資料 2 第 1 回推進協議会 及び 第 2 回ワーキングでの主な意見について 資料 3 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進計画(原案) 資料 4 キャッチフレーズ等(案)について 資料 5 今後の予定について		

1. 開会

あいさつ(中播磨県民局長)

2. 議事

(1) 会長あいさつ

議事に先立ち、会長よりあいさつ。

(2) 第 1 回推進協議会及び第 2 回ワーキングでの主な意見について

資料 2 により、第 1 回推進協議会及び第 2 回ワーキングの主な意見について説明(事務局)

(3) 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進計画(原案)について

資料 3 により、中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進計画(原案)について、主な修正事項について説明(事務局)

原案について了承され、事務局による微修正については、会長一任で確認する。

意見

- ・ 神河町のハザードマップについて、P94にH25に改定とあるが、P96更新欄に記載がないため、修正いただきたい。(市町委員)
- ・ 町内での浸水常襲地区は限定しているが、モデル地区の指定により先導的に実施していくこととなりうれしく思っている。公共下水道としても取り組んでいるが、圃場整備等、農業面でも取り組みを行う必要があると考えている。(市町委員)
- ・ モデル地区に選定され、うれしく思っている。総合治水を円滑に進めるためには、モデル地区での取り組みを情報発信していくことが大切だと考えられる。(県民委員)
- ・ 福崎町では気象状況により行政無線が聞こえにくいと言われていたので、全33集落の放送設備を活用し、各自治会からも発信していただくこととなった。(市町委員)
- ・ 各戸にまで情報が届くことが重要で、他市町でも参考になる対策だと考えられる。(会長)
- ・ 船場川沿いでの対策に取り組んでいるが、船場川西側の山を開発したところでは、避難所となる小学校周囲の用水路で溢れている。(県民委員)
- ・ ウィークポイントを把握することが重要で、河川カメラ等で、どういう状況で危ないのか知りたい。(県民委員)
- ・ 市川そのものの被害はなく、要望はない。流域対策の候補としては、生野高校が考えられる。(県民委員)
- ・ ダムの事前放流により、ゴミが河川内の樹木にひっかかり汚い。環境面からも考えてもらいたい。(県民委員)
- ・ ダムが緊急的に放流することで慌てることはあっても、災害はないので、上流域でも協力していくことが大切だと考えている。(県民委員)
- ・ シカが棲むような中洲に樹木があり、対応してもらいたい。(県民委員)
- ・ P93に砂防に関連し、砂防施設が満杯になった場合は、次の砂防をつくることになることであるが、緊急対策的に下げておくことができるのではないかと考えられる。(県民委員)
- ・ 施設整備はある程度進んでいくが、その後の維持管理に困っている。ため池の事前放流にも、下流水路の維持管理が必要だと考えられる。(県民委員)
- ・ これまでに考えられないゲリラ豪雨が発生しているが、市川でも整備されていないところもあるので、対策の推進を望む。(県民委員)
- ・ モデル地区として、浸水のあるところから取り組むことでよいが、他の地区でも対策が進むようにその成果を広く発信いただきたい。今後、揖保川の総合治水でも参考にさせていただきたい。(県民委員)
- ・ 上流でどういう雨が降れば、下流でどうなるのか示してもらえればありがたい。(市町委員)
- ・ モデル地区での取り組みがスムーズに進むよう頑張りたい。(市町委員)
- ・ 市川本川では、災害は起こっていないが、支川では被害が生じている。総合治水の観点から、森林機能の強化をどう具体化していくかが、大切である。計画期間は10年であるが、森林に対しては、もっと長期間の計画で考える必要がある。(市町委員)
- ・ 生野ダムの事前放流は、下流のためになると考えられる。関西電力で黒川ダムでも調整が必要ではないかと考えている。(市町委員)
- ・ 平成23年台風12号で、大きな被害が生じており、検証を行っている。ハード面では

雨水ポンプや管渠の整備を行うが、ソフト面では、防災行政無線では深夜で強い雨の中、聞こえないとの意見を受け、メール登録が3,000から11,000に増えるとともに、テレドーム（電話で防災無線の内容が確認できるシステム）を取り入れた。（市町委員）

- ・ 推進計画は、協議会、ワーキングの意見が取り入れられ、よいと考えている。（市町委員）
- ・ P128に「ゲリラ豪雨の増加傾向に対応」とあるが、対応は困難なため、「ゲリラ豪雨の増加傾向を考慮し」に修正いただきたい。また、60分降雨強度を10年確率の49.5mm/hrに変更して整備を進めていくことも記載していただきたい。（市町委員）
- ・ 船場川上流地区での流域対策については、いろいろ取り組んでいけるよう、調査していきたい。（市町委員）
- ・ 立木対策等、環境面も考慮し、取り組んでいく等、頂いた皆さんの意見を参考に取組みを進めていきたい。（兵庫県委員）
- ・ 市街地の船場川、田園地帯の七種川がモデル地区となっている。市街地での対策は費用面で難しい。七種川地区では、水田やため池での貯留効果が大きいが、農家の方の協力が必要となる。揖保川総合治水でも水田・ため池での取組みが中心になると考えているので、七種川地区での取組みに期待している。（兵庫県委員）
- ・ 昨年度、法華山谷川の総合治水推進計画を策定し、短期間での「ながす」対策として床上浸水対策を行っているが、床下浸水が残る箇所もある。平行して、「ためる」「そなえる」対策が重要となる。（兵庫県委員）
- ・ ウィークポイントを把握するため、平成23年に全河川の点検を行っているが、それら情報を発信できるように検討していきたい。また、ウィークポイントへの河川監視カメラの設置についても検討したい。（兵庫県委員）
- ・ 校庭貯留は、いざ避難する場所でもあるため、水を貯めることを優先するのか、避難する場所を確保することを優先するのか、つくるだけでなく、ソフト対策としても考える必要がある。災害弱者を助け合える日頃からの関係も大切である。（兵庫県委員）
- ・ 兵庫県では、氾濫予測システムを作成しており、これらのシステムも活用してはどうかと考えられる。また、目で見てわかる情報は大切であり、河川監視カメラの増設は有効だと考えられる。（会長）
- ・ 砂防ダムは、ダムから更に上流に土砂をためる機能を持っており、満杯に見えても機能維持はしており、直ちに砂防ダムを新設しないといけないということではない。（事務局）
- ・ 推進計画(案)について、本日意見があったものについては反映する。特に大きな修正がなければ、微修正等については会長に一任ということにさせてほしい。（会長）
⇒異議無し。（全委員）

(4) その他（キャッチフレーズについて）

資料4により、キャッチフレーズ案について説明（事務局）
案について了承

3. 今後の予定等（連絡事項）

事務局より、資料5により、今後の予定について説明
議事録については、各委員に送付の上、確認いただく。

4. 閉会

第2回 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会
出席者一覧

(順不同、敬称略)

属性	氏名	主な役職	出欠
学識 経験者	藤田 一郎	神戸大学教授	出席
兵庫県	福田 好宏	東播磨県民局長	代理出席 宮本
	北川 稔男	中播磨県民局長	出席
	山本 嘉彦	西播磨県民局長	代理出席 大山
	岩根 正	但馬県民局長	代理出席 大谷
市・町	石見 利勝	姫路市長	代理出席 松本
	登 幸人	高砂市長	代理出席 冨田
	多次 勝昭	朝来市長	代理出席 松本
	山名 宗悟	神河町長	出席
	岡本 修平	市川町長	欠席
	嶋田 正義	福崎町長	出席
	北川 嘉明	太子町長	出席
県民	岩成 孝	姫路市連合自治会 会長	出席
	大西 隆夫	高砂市連合自治会 副会長	出席
	坂本 薫	朝来市生野町区長会 会長	出席
	生田 良昭	神河町区長会 副会長	出席
	小野 芳則	市川町区長会 会長	出席
	松岡 政行	福崎町区長会 会長	出席
	瀧口 迪範	太子町連合自治会 会長	出席

議事録確定署名人

会長：神戸大学教授

藤田 一郎

中播磨県民局長

北川 稔男